

業務運営方針

令和3年度は、昨年度に引き続き、コロナ禍の影響を受けている中小企業・小規模事業者に対する資金繰り支援・経営支援について、関係機関と連携しながら、最優先に全力を挙げて取り組みます。

あわせて、コロナ禍の収束に向け、課題を抱える事業者に対して、「経営健全化」「創業・再チャレンジ」「事業承継」「生産性向上・事業再構築」(重点4課題)を促す支援に重点的に取り組みます。そして、「事業の維持・創造・発展に努力する中小企業の良きパートナーとして信頼される保証協会を目指し、地域経済・社会の発展に貢献する」という基本理念のもと、より一層業務を「前進」させ、事業者に寄り添った支援を展開します。このため、各部門における業務運営方針を次のとおりとします。

1.保証部門

コロナ禍の影響を受けている中小企業・小規模事業者の資金繰り支援について、国や県が実施する施策を活用し、引き続き最優先で取り組みます。あわせて、経営課題を抱える事業者への資金繰り支援を関係機関と連携の上、積極的に展開します。

2.期中管理・経営支援部門

コロナ禍の影響を受け、資金繰りに悩む事業者に対しては、関係機関と協調し、返済緩和に柔軟に対応します。また、創業や事業承継に関する理解と関心を深めるイベントの開催等を通じて、創業・事業承継を後押しします。

3.回収部門

個々の求償権の内容を見極め、適切な進行管理のもと効率的な回収を行います。また、コロナ禍による急激な環境の変化により代位弁済に至った先等については、事業再生や再チャレンジ支援の観点にも配慮し、それぞれの状況に相応しい対応を行います。

4.その他間接部門

コロナ禍に係る対策について、協会をあげて取り組むための組織体制を引き続き整備するとともに、デジタル化をはじめとした業務運営体制の強化に努めます。

また、公的機関としての社会的責任を果たすため、コンプライアンスの徹底に取り組みます。反社会的勢力等に対しては、関係機関と連携し、その一切を排除します。

業務計画

1.保証承諾額等

項目	金額	対前年度実績比
年間保証承諾額	500,000百万円	37.3%
期末保証債務残高	1,750,000百万円	93.1%
代位弁済額	25,000百万円	157.6%
求償権実際回収額	4,900百万円	107.1%

2.基本財産と支払準備資産

(1)基本財産	令和3年度末保有見込高	79,255百万円
(2)支払準備資産(借入金を除く)	令和3年度末保有見込高	185,847百万円

収支計画

(単位:百万円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常支出		経常収入	
業務費	3,661	保証料	15,379
借入金利息	0	預け金利息	100
信用保険料	8,607	有価証券利息・配当金	1,100
責任共有負担金納付金	1,163	延滞保証料	0
雑支出	4	損害金	70
		事務補助金	60
		責任共有負担金	2,504
		雑収入	98
計	13,435	計	19,311
経常外支出		経常外収入	
求償権償却	21,488	償却求償権回収金	730
有価証券償却	0	責任準備金戻入	11,300
雑勘定償却	60	求償権償却準備金戻入	562
退職金	10	求償権補填金戻入	18,244
責任準備金繰入	11,123	補助金	0
求償権償却準備金繰入	1,054	その他収入	10
その他支出	10		
計	33,745	計	30,846
		収支差額変動準備金取崩額	0
収支差額	2,978		
合 計	50,157	合 計	50,157

※各項目の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。